
Intel®vPro Technology 導入参考ガイド

Remote KVM (iAMT6.1)

はじめに

本資料は Technology Center のために作成された一般的な設定紹介の参考資料です。

この資料に基づいて設定いただく前に以下の抜粋を含む Technology Center についての以下サポートに関する記載に同意してご活用下さい。

<http://ja.community.dell.com/techcenter/f/11/t/216.aspx>

以下 Technology Center より抜粋

Dell テックセンターのサイトへようこそ。このサイトは、Dell のユーザーの皆様には技術的な事柄についてディスカッションや情報交換をしていただくサイトです。皆様のディスカッションが進むようにデルの方からも資料を提供させていただきますが正式な製品のサポートに関してはこのサイトの下部のサポートサイトへご連絡ください。デルは、本サイトの内容の真実性や有効性について責任を有するものではありませんので、ユーザーの皆様にご判断いただきますようお願いします。

MEBx の Basic セッティング

参考：iAMT6.0のユーザーガイドのLinkは以下になります。

<http://supportapj.dell.com/support/edocs/systems/xlob/iAMT/6.0/ja/index.htm>

※iAMT6.1では、AMT設定の詳細が一部変更となっている部分がございますので下記をご参照ください。

AMT 設定

次の表は AMT 設定ページの Intel® Management Engine BIOS Extension (MEBx) のデフォルト設定です。

管理性/機能選択

SOL/IDER/KVM	
Username and Password (ユーザー名とパスワード)	Disabled (無効) Enabled (有効) *
SOL	Disabled (無効) Enabled (有効) *
IDER	Disabled (無効) Enabled (有効) *
Legacy Redirection Mode (Legacy リダイレクションモード)	Disabled (無効) Enabled (有効) *
KVM	Disabled (無効) Enabled (有効) *
User Consent (KVM 設定) ※iAMT 6.0 では KVM Configuration という項目名でした	
User Consent	NONE (KVM セッションには、ユーザーの同意は必要なし) KVM (KVM セッションには、ユーザーの同意が必要) * ※iAMT 6.0 では KVM Configuration > User Opt-in という設定値でした
Opt-in Configurable from remote IT (リモート IT からの選択設定)	Disable Remote Control of KVM Opt-In Policy (KVM 選択ポリシーのリモートコントロールを無効化) Enable Remote Control of KVM Opt-In Policy (KVM 選択ポリシーのリモートコントロールを有効化) *

 メモ：KVM が動作するには、要件が Clarkdale/Arrandale CPU である必要があります。

* デフォルト設定

1. モニタ・キーボード・マウス等、起動に必要な機器が全て接続されている状態でコンピュータの電源を入れます。(又はコンピュータを再起動します)
2. Dell のロゴが表示されたら、すぐに <Ctrl>+<P> を押します。



※OS のロゴが表示された場合、Microsoft Windows のデスクトップが表示されるのを待ってコンピュータをシャットダウンしてもう一度やりなおします。

※何度実施してもうまくいかない場合は、Dell のロゴが表示されたら<F12>キーを押し、Boot Device Menu の OTHER OPTIONS : 一覧より Intel(R) Management Engine BIOS Extension (MEBx)を選択し<Enter>キーを押します。

3. MEBx コンフィグレーション・インターフェース画面が表示されます。



※キーを押すタイミングが遅れて OS のロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータをシャットダウンして操作を再実行してください。

1. デフォルト設定されている PW を変更する。

1. Intel ME Password フィールド（下記枠内）に「admin」と入力し <Enter> を押します。

※ パスワードは大文字と小文字を区別します。

ME パスワードを変更します。デフォルトのパスワードは「admin」を入力します。<Enter> を押します。

この後お客様の設定されたいPWに設定可能です。新しいパスワードには必ず次の要素を含めて下さい。

POINT: 英語キーボードとして認識されますので、配列にご注意いただき、英語入力で入力可能な記号で設定下さい。

■ デフォルトパスワード（初期パスワード）は「admin」です

■ 設定変更の前にデフォルトパスワード（初期パスワード）を新しいパスワードに変更する必要があります

■ 新しいパスワードには次の要素が含まれていなければなりません

- パスワード例→Dell! 1 2 3
- パスワードの長さ:最低 8 文字最大 32 文字まで
- 1 つの大文字 ('A', 'B', ... 'Z').
- 1 つの小文字 ('a', 'b', ... 'z')
- 数字 1 文字以上 ('0', '1', ... '9')
- " や , を除いた 特殊文字 1 文字以上:(e.g. '!', '\$', ';')注: "_"(アンダーバー)はアルファベットとみなされるため、対象外です
- スペースキーは有効なパスワード文字ですが、パスワードが複雑になるため使用するべきではありません

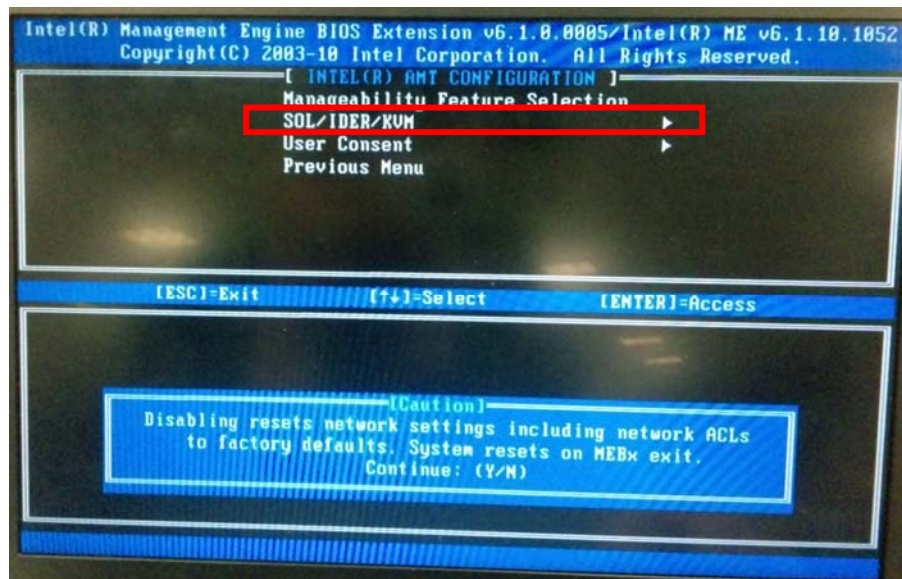
※CMOS クリアすると 設定したパスワードは初期パスワード設定（admin）へ戻ります

2. 基本的によく使う項目を設定します。

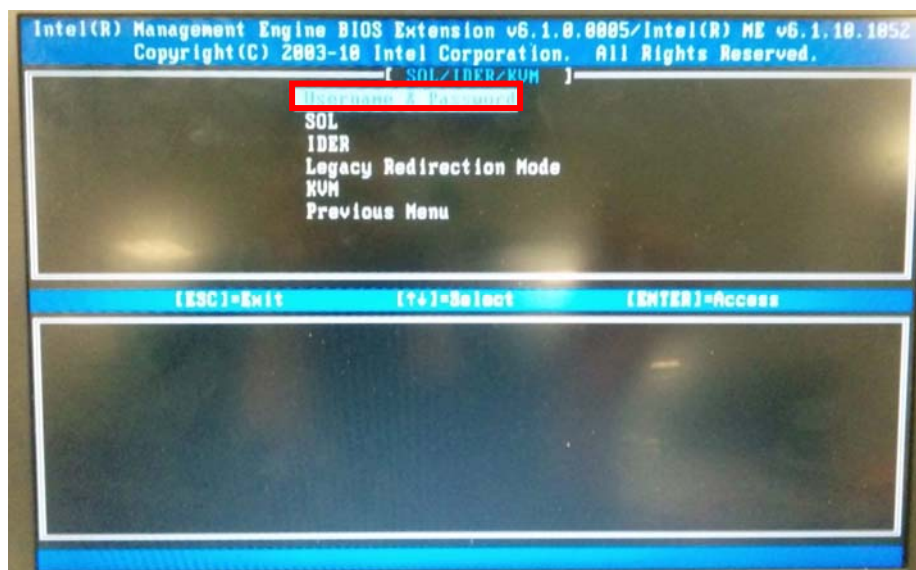
Remote KVMの設定をします。

メインページに戻って、**Intel AMT Configuration** を選択し **Enter** を押します。Intel AMT 構成を設定 Configuration のページに切り替わります。

1. SOL/IDER/KVM を選択して Enter を押します。



2. [Caution] Disabling resets network settings including network ACLs to factory defaults. System resets on MEBx exit. Continue: (Y/N)が表示されるので Y を押します。
3. Username & Password の項目で Enter を押し Enabled を選択し Enter を押します。
※このオプションはユーザーとパスワードを Web GUI で追加できるようにするものです。



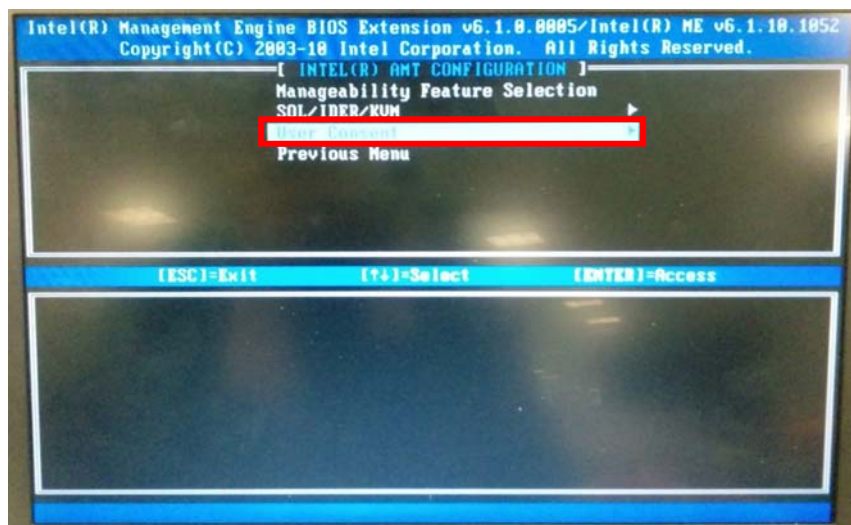
4. SOL の項目で Enter を押し、Enabled を選択し Enter を押します。

5. IDER 項目で Enter を押し、Enabled を選択し Enter を押します。

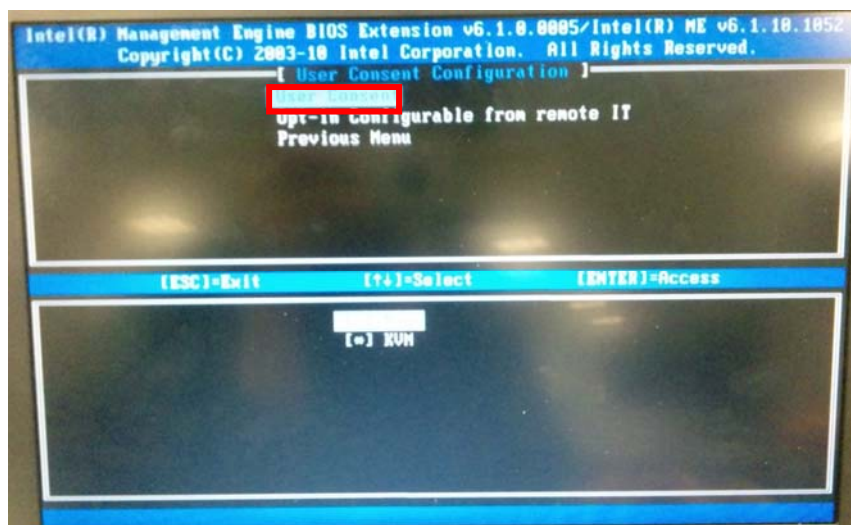
KVM の設定をします。

1. Return to Previous Menu を選択し Enter を押します。

2. User Consent を選択し Enter を押します。



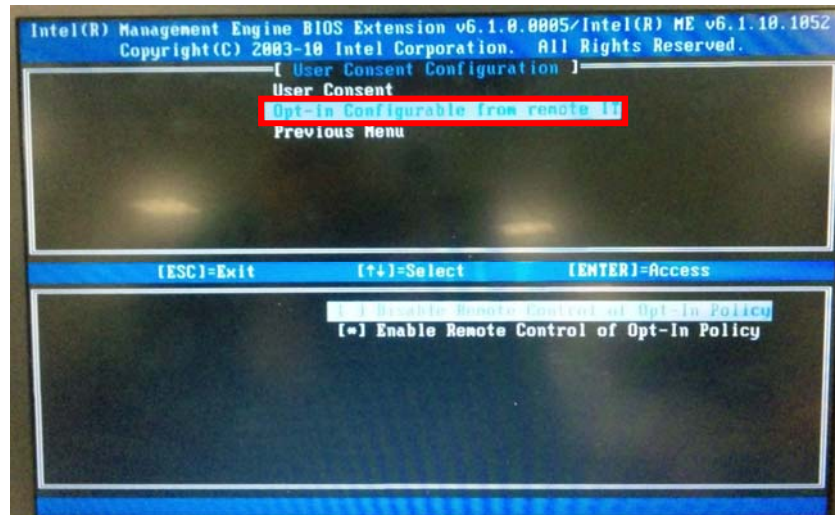
3. User Consent Configuration 画面の User Consent を選択し Enter を押します。



次のオプションを選択することができます。

- NONE セッションのリモートでの確立にローカルユーザーの同意が必要ない
- KVM セッションのリモートでの確立にローカルユーザーの同意が必要 (*Default)

4. Opt-in Configurable from remote IT の項目を選択し Enter を押します。

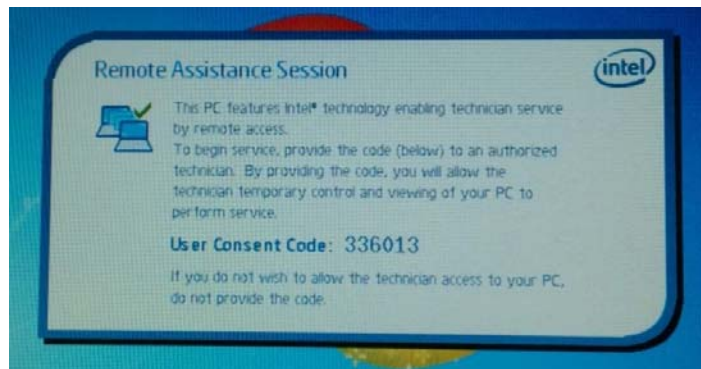


次のオプションを選択することができます。

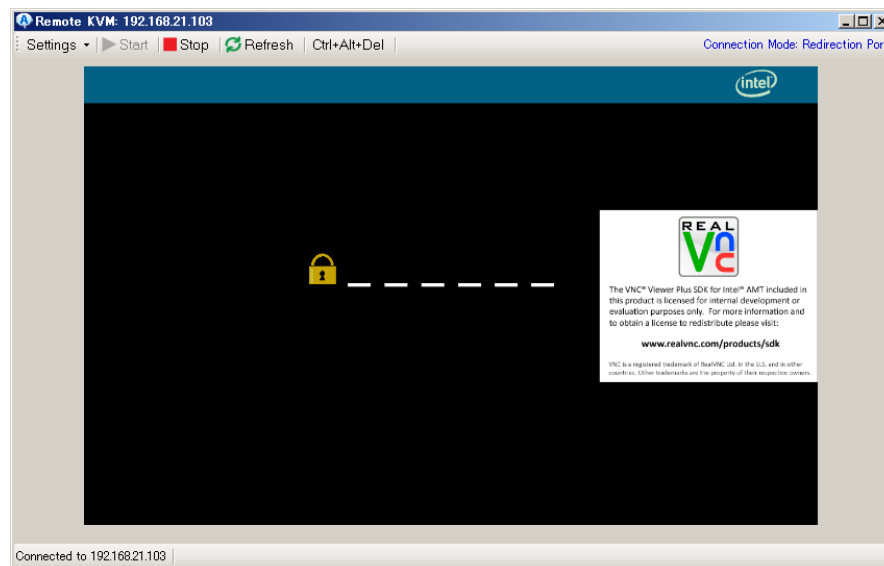
- **Disable Remote Control of KVM Opt-in Policy** (KVM 選択ポリシーのリモート制御の無効化)
このオプションは、ユーザー選択ポリシーをリモート管理者が選択できないようにします。
この場合、ローカルユーザーのみがオプトインポリシーを制御できます。
- **Enable Remote Control of KVM Opt-in Policy** (KVM オプトインポリシーのリモート制御の有効化)
このオプションは、ユーザーオプトインポリシーをリモート管理者が選択できるようにします。
(*Default)

■KVM 補足：

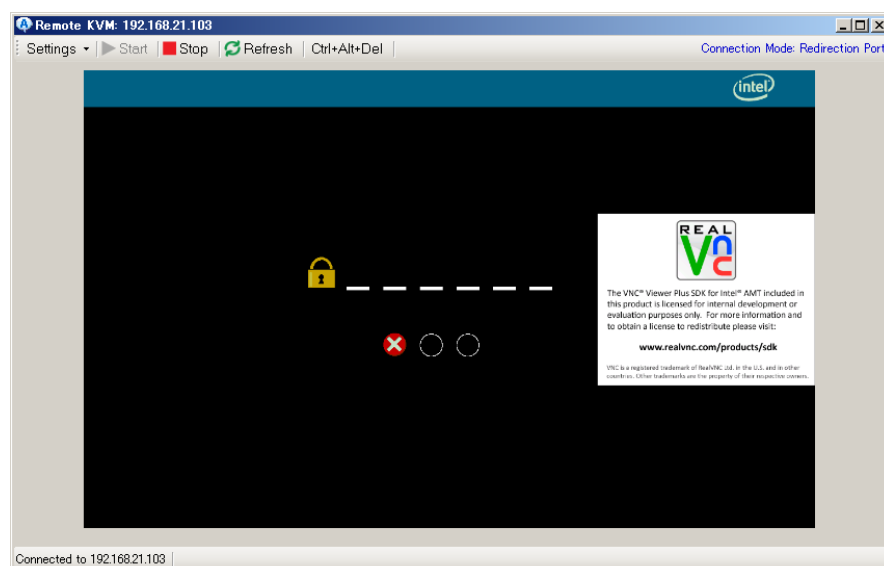
User Consent>User Consent がデフォルトの KVM に設定されていた場合、KVM にローカルユーザーの承認が必要となりますので、VPRO 接続した PC（ローカルユーザの PC）に下記のようなメッセージが表示されます。



管理 PC 側に 6 ケタの認証コード入力画面が表示されますので、ローカルユーザーに 6 ケタの番号を確認し入力します。※6 ケタの認証コード入力後に<Enter>キー押下は不要です。

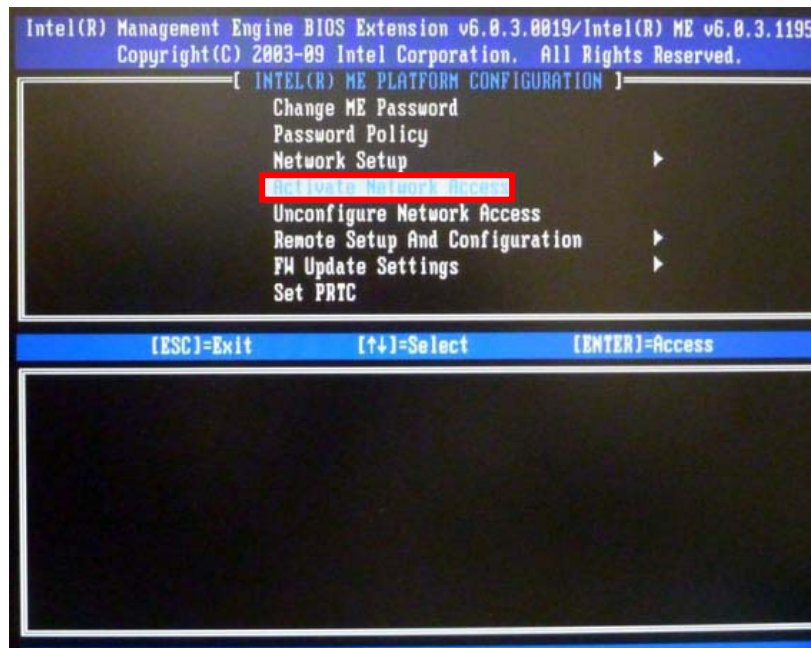


※6 ケタの認証コードを 3 回失敗すると接続処理が終了します。



Network access を有効にします。

1. Intel ME General Settings で、Activate Network Access を選択して Enabled を選択します。



2. 確認メッセージが表示されるので Y キーを押します。



以上が非常に Basic な最低限 Remote KVM を使う際の設定箇所です。

MEBx の設定が完了しましたら、とりあえず、IP アドレスを確認して、次ページ以降に記載の管理用の Intel Manageability Developer Tool Kit を DL いただき vPro で操作可能か確認いただくことをお勧めします。この SW は比較的容易に vPro の Remote KVM 操作が可能な Intel 社製 SW です。

上記 SW テストで問題なければ、本格的に導入される予定の管理 SW 上で確認という順序で動作確認下さい。

***** 以下参考 *****

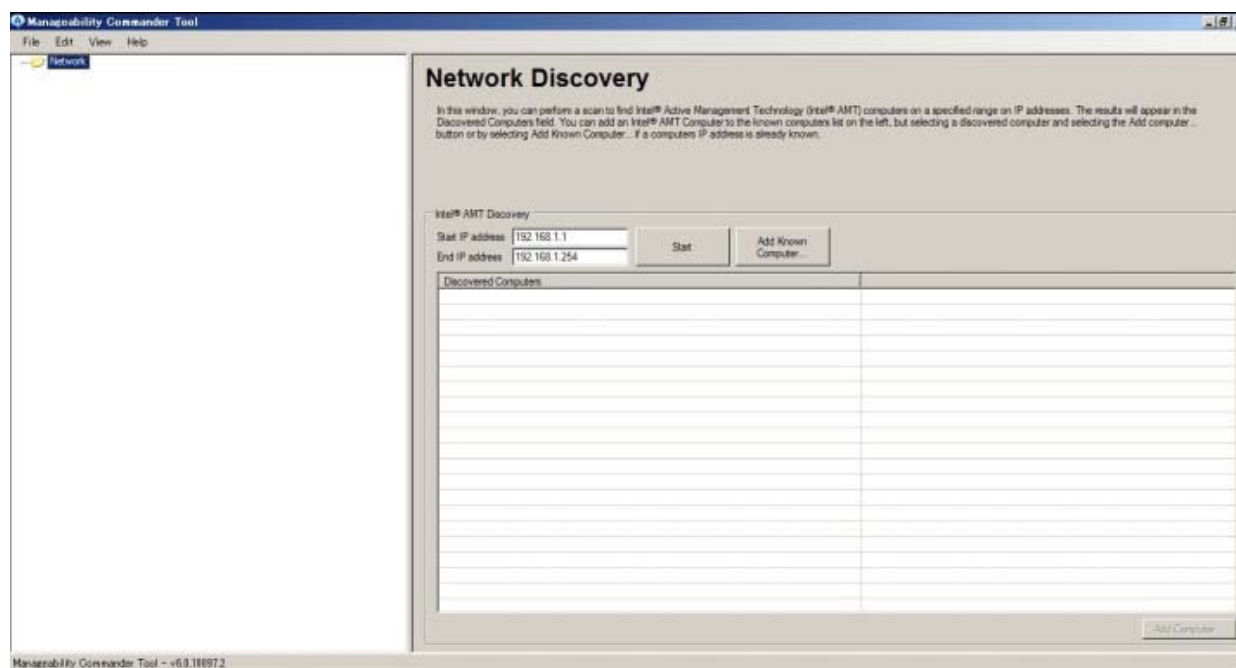
3. Intel Manageability Developer Tool KitでPCの状態を確認する。

管理側PCへIntel Manageability Developer Tool Kitをダウンロードしインストール下さい。

<http://software.intel.com/en-us/articles/download-the-latest-version-of-manageability-developer-tool-kit/>

管理者の管理PCよりデスクトップ上のアイコンをクリックし起動します。

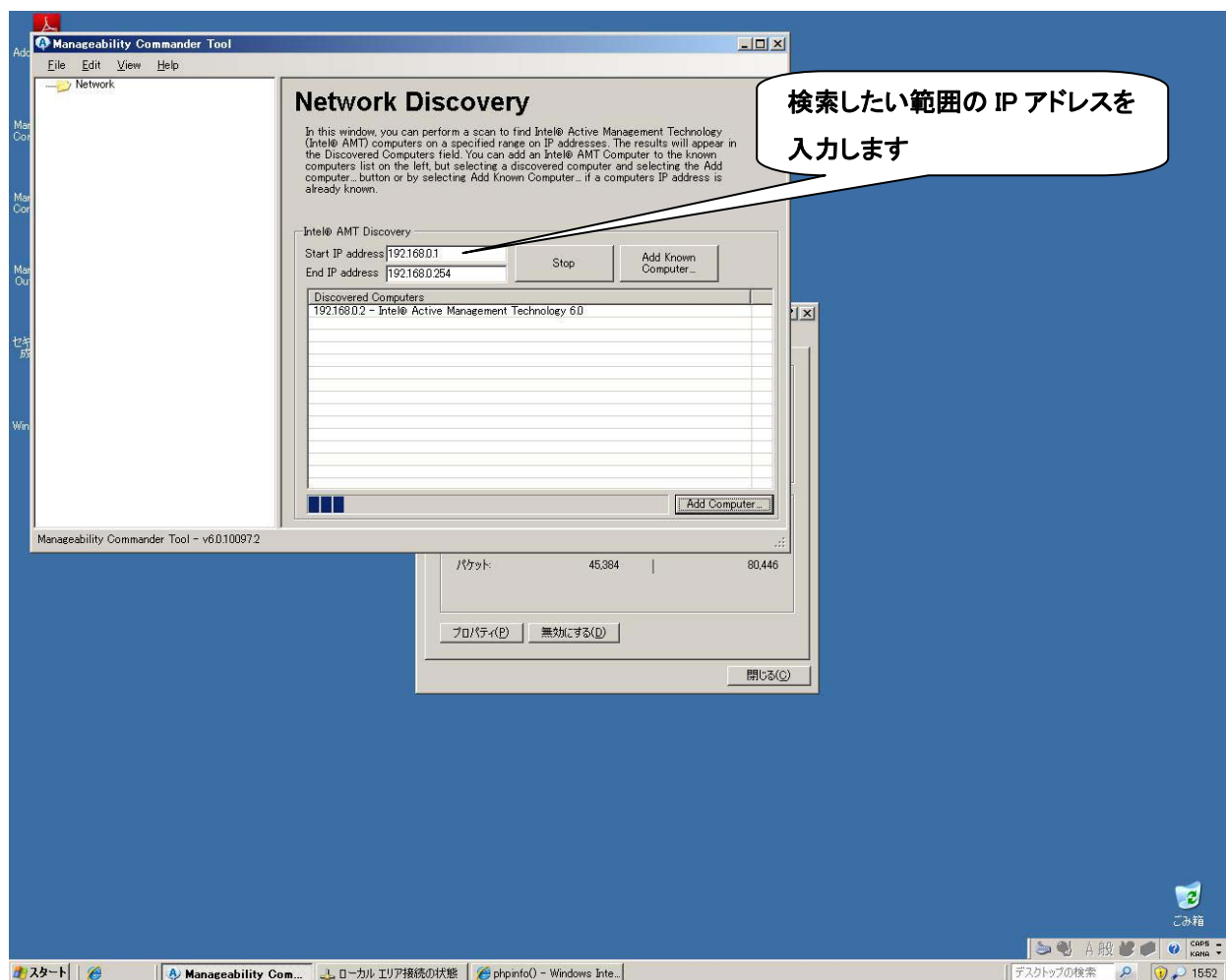
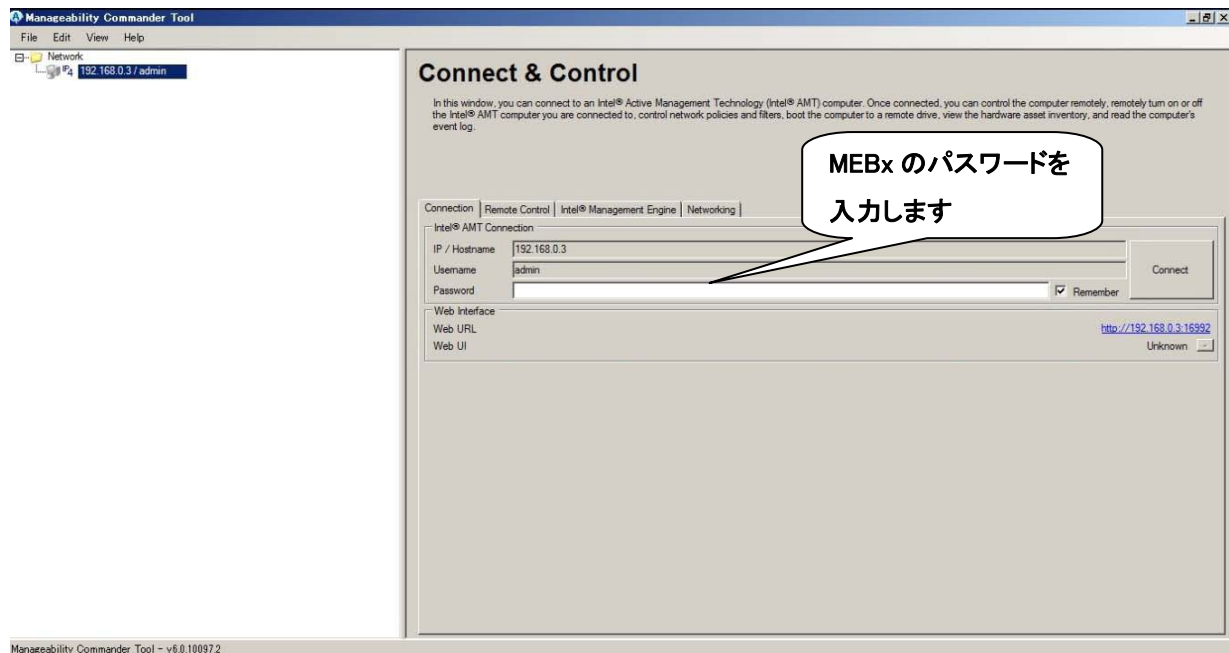
(Manageability Commander Tools)



Remote KVM してみましょう。

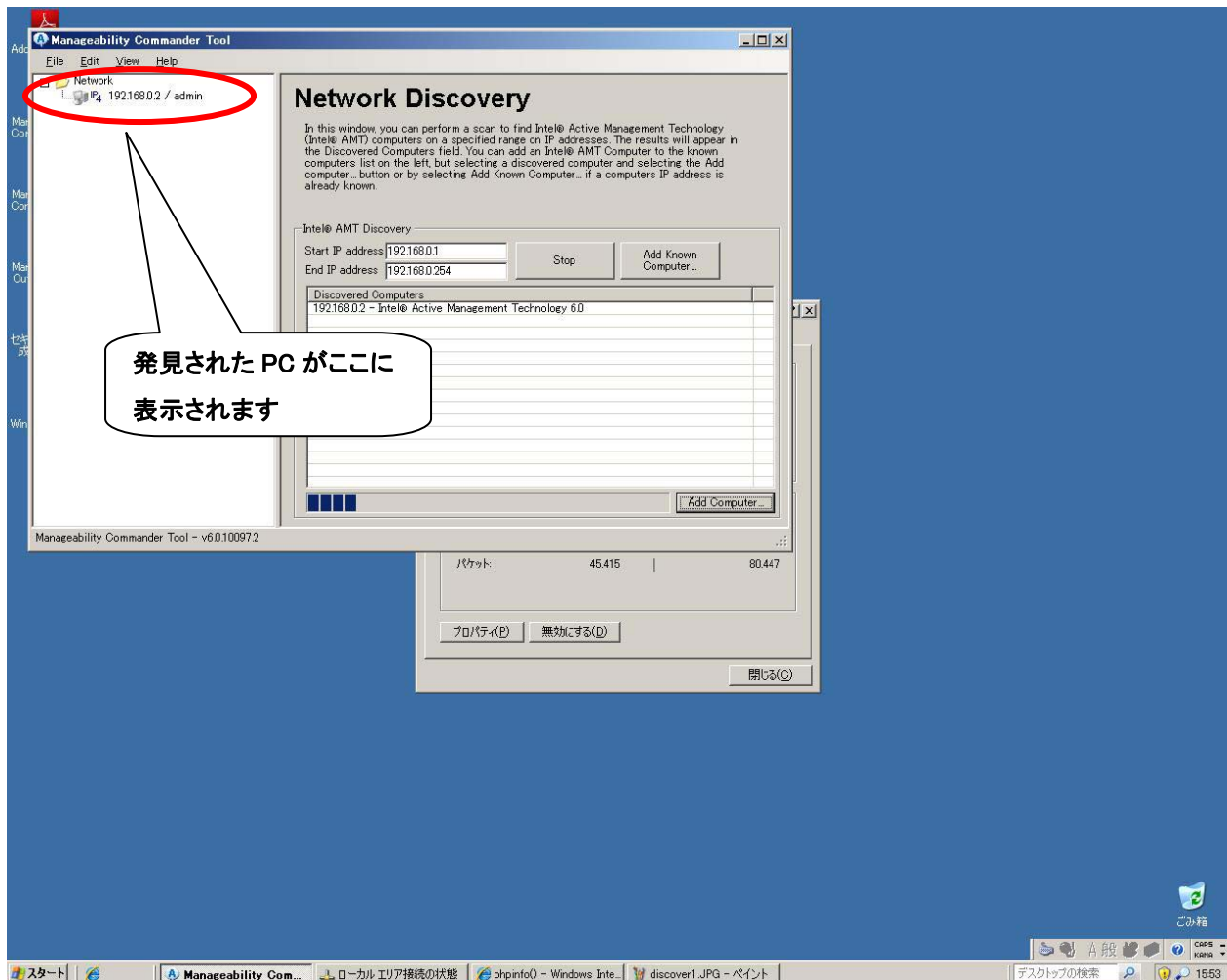
まず管理対象を見つける手順について説明します。

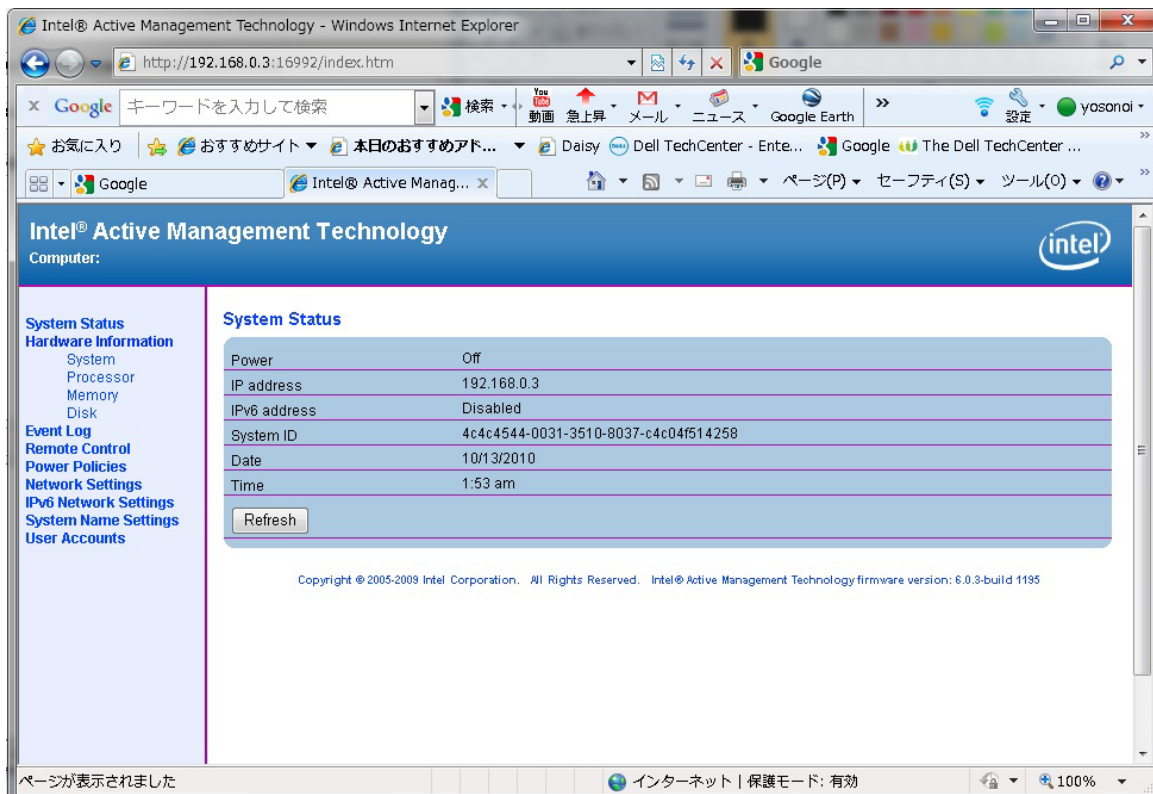
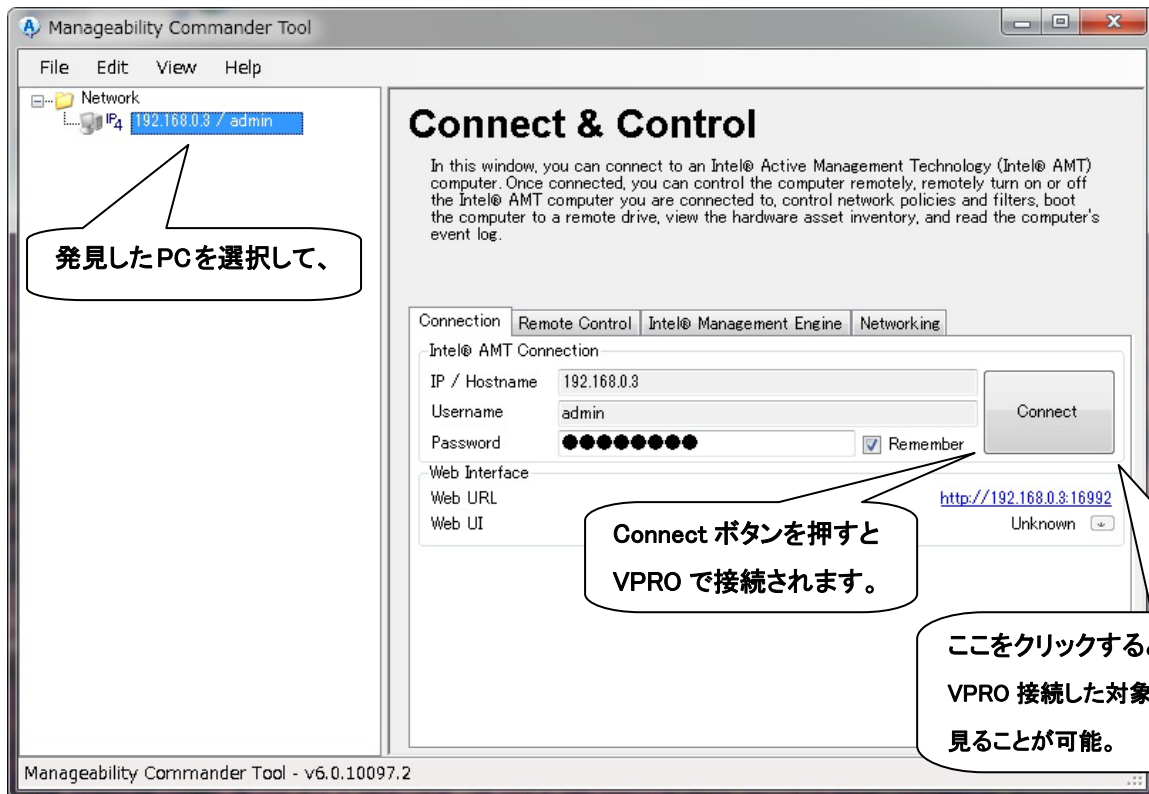
管理者の MEBx BIOS のパスワードを入力し、探したい範囲の IP アドレスを指定してください。

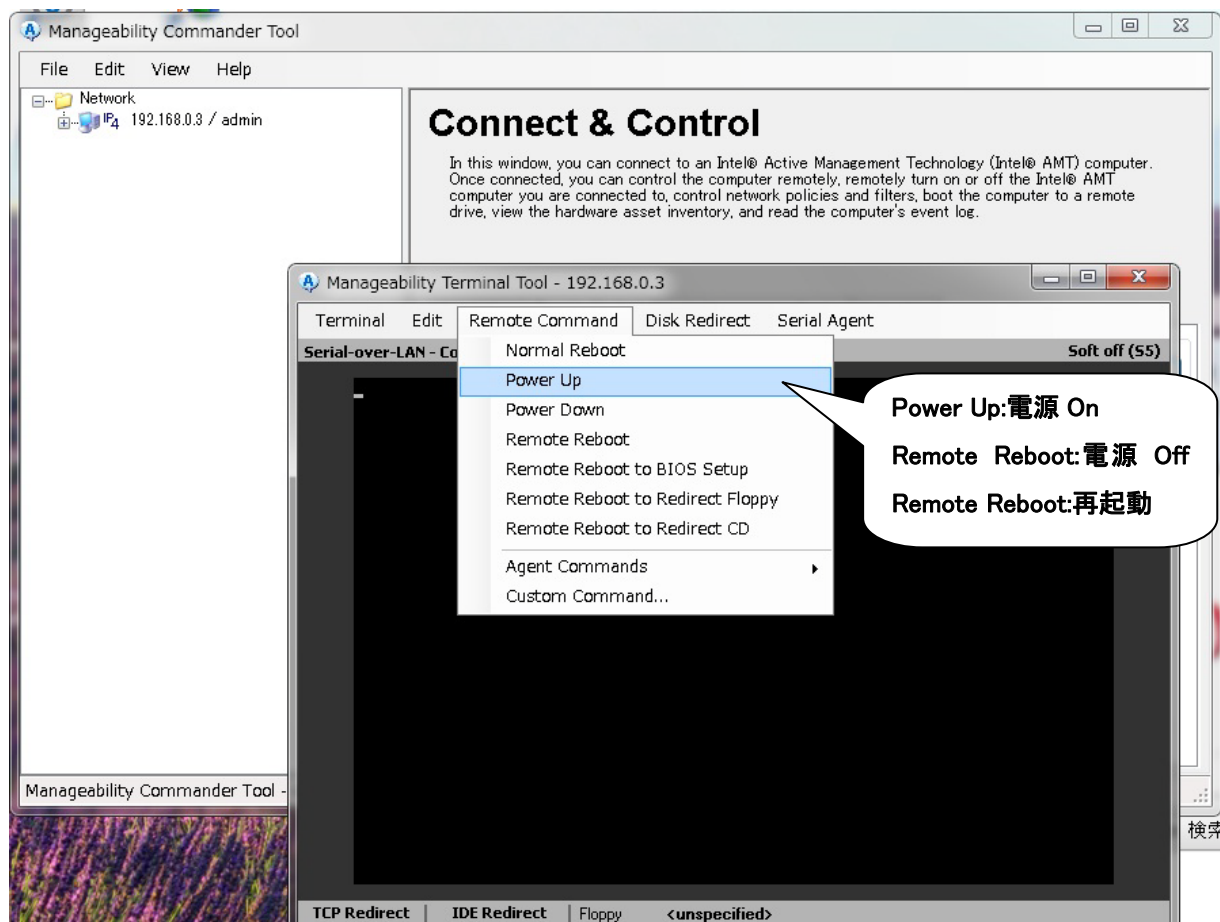
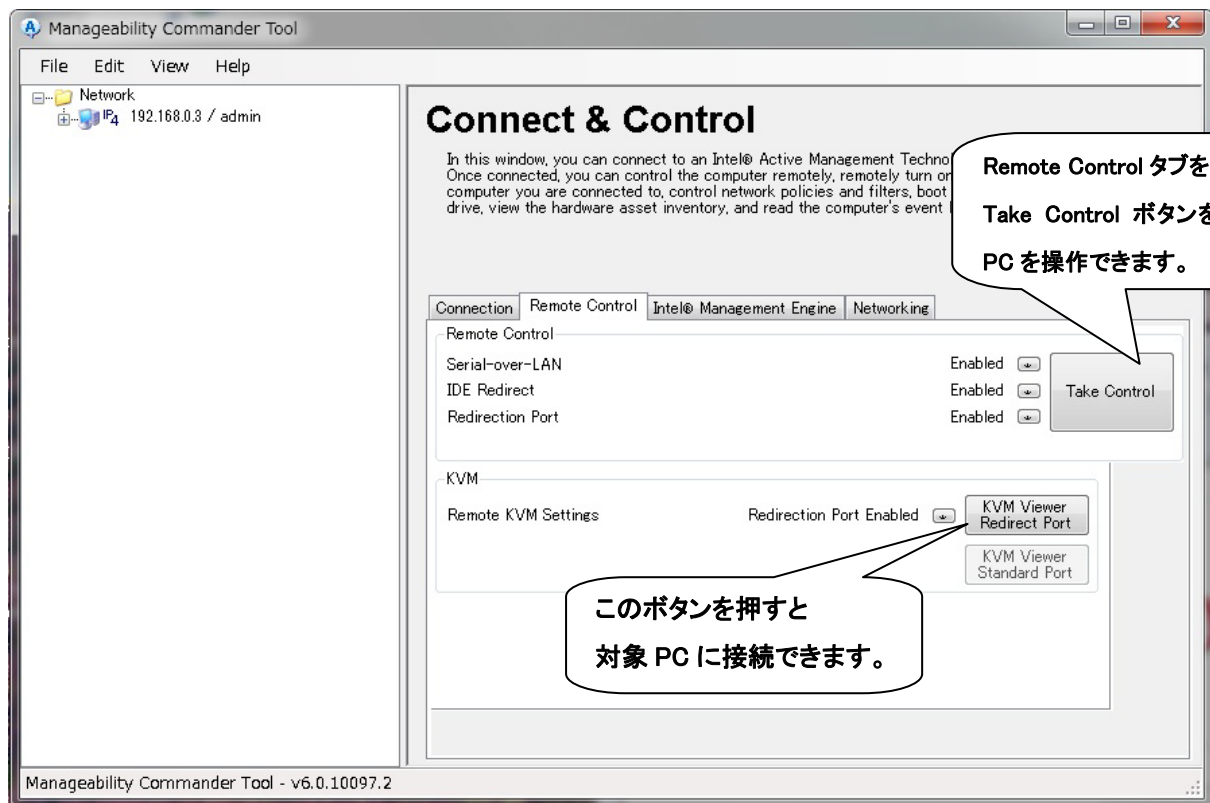


IPアドレスを調整しstartをクリックして下さい。(ネットワーク上のvProシステムを探します)

管理対象を見つけるとPCが左画面に現れます。

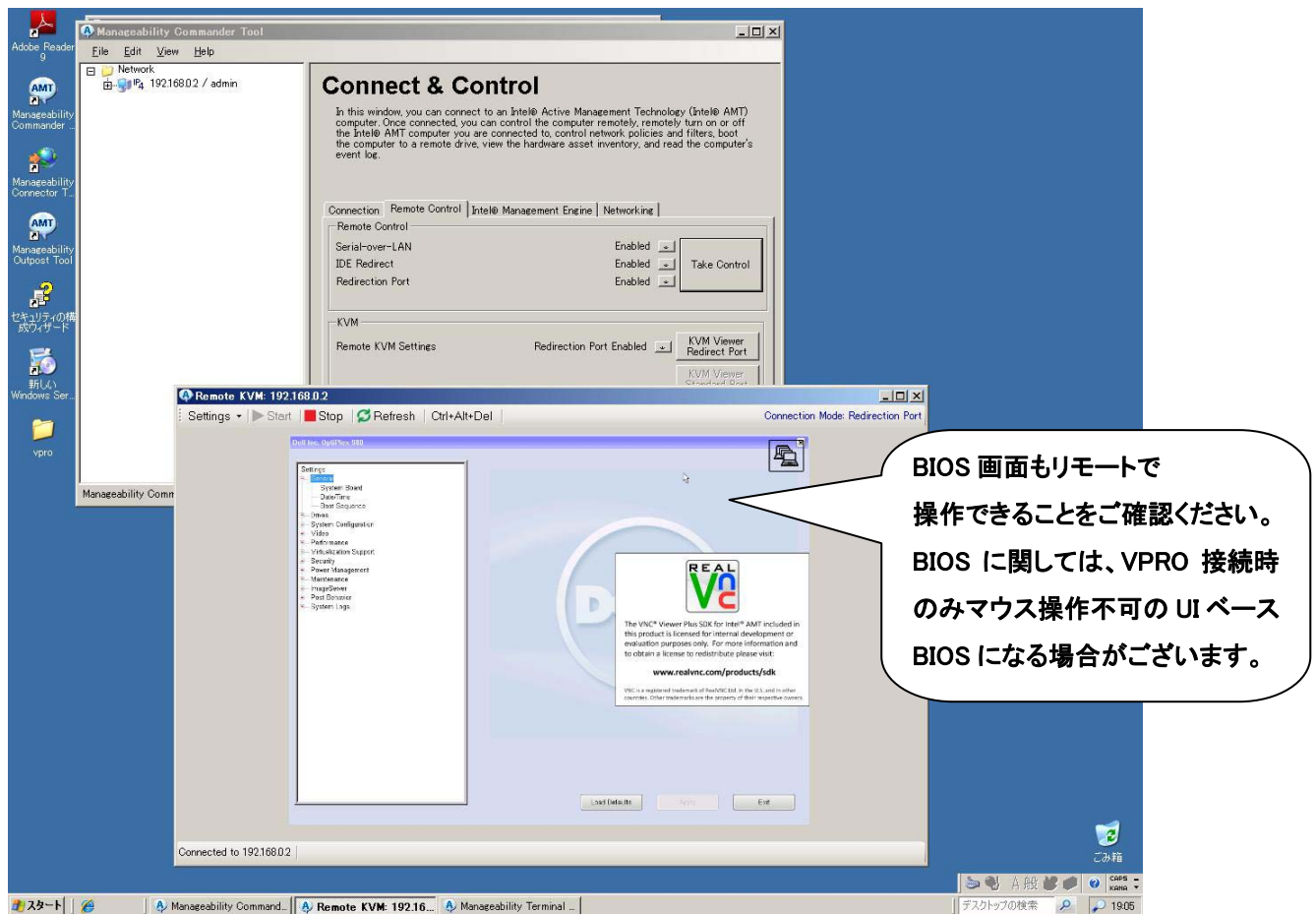






BIOS も操作可能です。

※ブルースクリーンで OS 起動不可でもユーザーと同じ画面を Remote でご確認くださいませ。



以上が割と容易に Remote 操作感覚が確認できる、Intel Manageability Developer Tool Kit による参考ガイドになります。

※お客様の環境により設定箇所は異なります、上記は一例としての参考情報です。

どうぞ宜しくお願いいたします。